

湯郷渡・下母畑・上母畑の3サロン 講師全員が健康リーダー！！

7月2日（火）湯郷渡サロン 19名 参加 講師 滝川 ハルイ、岡部 茂登子、9日（火）下母畑サロン 13名 参加 講師 添田 美恵子、山下 洋子、12日（金）上母畑サロン 13名 参加 講師 鈴木 京子、二瓶 順子の3サロン全ての講師が健康リーダーで脳トレ、健康体操と健康寿命を延ばす為に指導して頂きました。



湯郷渡サロン

下母畑サロン

上母畑サロン

白菊会 健康相談・健康講話・ボランティア・消火訓練実施

7月10日（水）13:30 から白菊会（会長 木戸 孝子）12名は、二瓶保健師（保健センター）の協力で血圧測定、熱中症予防の講話、草取りボランティア、そして水消火器を使って消火訓練と大忙しの半日でした。



草取りボランティア

健康講話
(熱中症予防について)

消火訓練

健康相談
(血圧測定)

8月の行事

“第6回母衣旗盆踊り大会”開催 8/15（木）八幡屋駐車場

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 2日（金）19:00 盆踊り練習 | 9日（金）9:30 上母畑サロン |
| 3日（土）8:00 櫓建て | 講師：南條 みち子、鈴木 京子
(健康リーダー) |
| 3日（土）13:30 書道教室 | |
| 6日（火）9:30 湯郷渡サロン | 9日（金）19:00 盆踊り練習 |
| 講師：廣田 智（理学療法士） | 10日（土）14:00 提灯取付け |
| 6日（火）13:30 下母畑サロン | 15日（木）18:00 母衣旗盆踊り大会 |
| 講師：添田 美恵子、
添田 京子（健康リーダー） | 16日（金）9:00 櫓片付け |
| 6日（火）19:00 盆踊り練習 | 17日（土）13:30 書道教室 |
| 7日（水）13:30 白菊学級 | 20日（火）13:30 きたす会 |
| 7日（水）19:00 民謡教室 | 21日（水）19:00 民謡教室 |
| 8日（木）13:30 ハーモニカ教室 | 22日（木）13:30 ハーモニカ教室 |
| | 24日（土）13:30 書道教室 |
| | 27日（火）13:30 きたす会 |

編集後記 今年の梅雨明けに気を揉んでいましたが、何とか7月下旬には明けそうになって来ました。農作物にも影響がはじめていました。体の調子もおかしくなってしまうそうです。皆さん！こういう時こそ規則正しい生活を送って、体調管理を万全にしてください。

母畑自治センターだより

母衣旗

今月の題字（270）中3 根本 郁也 さん

教育目標

「輝け！

母衣旗」

令和1年 8 月

第553号

発行日

令和1年8月1日

発行所

母畑自治センター

責任者

センター長 瀬谷 長一

第8回ねむの木まつり今年も大盛況！！

7月28（日）10時より第8回ねむの木まつりが旧母畑小体育館にて華々しく開催しました。ねむの木まつりのオープニングセレモニーは、添田安夫副実行委員長（企画推進委員長）の開会のことばでスタートし、実行委員長の挨拶を関根正夫まちづくり委員長が行い、お祝いのことばを塩田金次郎石川町長、下山田和夫議長、円谷健市県議、地元の永沼一夫町議より頂き、最後にセレモニーの閉会のことばを桑沢冬吉まちづくり副委員長が行い終了した。

ゲーム大会は、恒例になっている“スイカ早食い競争”、“かき氷早食い競争”を行い、大人も子どもそして塩田町長、円谷県議、永沼、瀬谷（寿）、草野各町議等にも参加して頂き、早食いのタイムを競い大盛況でした。結果は、スイカ早食いが松宮さん、そしてかき氷早食い二連覇の福田利一さんでした。

ステージイベントは、玉川のオカリナ演奏でスタートし、郡山のベリーダンスで観客をアラビアンの世界に導き、次に民謡では、小豆畑民謡愛好会の小豆畑幸司さんが披露、ムーディー小林さんのトランペット演奏、舞踊では、地元の塩田カツヨさん、鈴木光子さんが、華麗な舞を披露して頂いた。矢吹町の子供達のフラダンス、いしかわぐんヨサコイ踊り隊、地元中の地元の増子幸一さんのギター弾き語り、自治センター教室のハーモニカ教室の高原榮征さん（講師）外生徒達さんによる懐かしい曲を演奏して頂きました。最後に元宝塚歌劇団 真灯かなたさんの会場全体に響き渡る声量で大変盛り上げて頂きました。

森令子さんのミニ歌謡ショー後、審査委員長となり、のど自慢出場者10名の審査の結果、上母畑区の瀧口 武さんが最優勝賞を飾りました。その後恒例の母衣旗盆踊り大会を行い、会場を盛り上げました。

ねむの木まつりを盛り上げた古代人の生活体験の火起こし、勾玉づくりは子供達に人気があり、子どもコーナーの射的、輪投げ等にも子供達が楽しんでいました。模擬店ではバザー、手打ちそば販売、飲食販売（焼き鳥・焼きそば・フランクフルト・かき氷・缶ジュース・生ビール等）何れの店も大好評でした。大抽選会では、番号、名前を読み上げられるたびに大歓声が上がっていましたが、最後に実行委員長賞を仕留めたのはヨサコイ隊の小針正子さんでした。ねむの木まつりの最後は、関根 正夫実行委員長の万歳三唱で幕を閉じました。

今月の仲間・人（二四四）

区長に就任して

母畑地区区長会（北山区長）

副会長 大串 正三



ように思います。この度、北山区長に就任して、自治センター始め、行政区の皆様には大変お世話になりますが、最後まで責務を全うしたいと思っております。ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。この母畑地区は、中山間地が多い地域で、移動手段が無いと大変な問題になります。きめ細かい送迎が出来るように町へ働き掛けて行きます。又、少子化で周りに子供達の遊んでいる姿が無くなって、随分経つような気がします。次の世代にバトンを渡せるように出来れば思っています。まだこの先、恒例の行事がありますので自治センターの皆様始め、諸先輩の方々、地区の皆様方にお世話になりながら、進めて行きたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

第8回ねむの木まついを写真で紹介します！！



母畑村讀本

中巻 第一課 私たちの村の歴史

母畑とゆう地名の起りは、二、三ちがつた事をゆう人があるけれども、多くの人々にいゝ傳えられておは、およそ次のようである。昔、後三年の役に源義家が勿來の関を通りがゞり、折しも盛りの櫻に心をひかれて、

吹く風をなこそその関と思ひども
道もせにちる山櫻かな

とよんだこの歌は関の名とゝもにひゞいてゐる。このやさしい、たしなみの深い武將は、一度は東白川郡から石川郡にかけて、道をとられたことがあるのではないかといわれるほどこの近所には、いたるところに、義家についての話がのこされている。

私たちの村の名の起りは實にその中の一である。義家が私たちの村(その頃は白河郡石川郷とよばれていた。)にさしかかった時この地にいた賊軍との間に戦が始つた。しかし賊軍が思いの外につよく、義家は苦しいいくさのすえ、母衣と旗とをすてゝたいきやくしたとゆう。それからこの地を母衣旗といゝ、のちには母畑とゆうよになつたとゆうことである。

今こそ私たちの村は石川郡母畑村といゝばまぎれもないが、これまでもなるのは、たくさんなうつりかわりをしてゐる。古くは白河郡石川郷中頃は柴山郷といわれ義家の代官におさめられるようになって石川郡といわれたはじめである。

ことに戦国時代からあとは會津の領地とされたり、宇都宮の領地とされたり、米澤白河二本松高田とつぎつぎ領地にかえられた。こんなに變つたのち、文政八年から天領となつて、明治の始めまで變らなかつたのである。面白い事には、明治の初めこのへんを白河縣といゝつぎは磐前縣といつたりした事である。けれどももつと考へなければならぬことは、こんなに名前が變つたとゆう事よりも、どんな風にして今のよくな村になつたかとゆう事である。

私たちのつと前の先祖様が始めてこの土地においでになつた頃は、道も無ければ、田畑もない、大木の立並んだ森林ばかりであつたにちがいない。そんなところで木をたおし、田畑をひらき、道をつくつた先祖様は、どんなに働かれたであろうか、今のりつばな道、橋、田、畑、電燈など、まで、一つだつて今では地の下に居られる先祖さまの力でないものは、ない。目につくかぎりの林の立木、一枚一枚の田畑、小さなほころから、道にしいてある砂利一つぶまで、みなその中には、書物にかゝれていないけれども、ほんとうの先祖様の歴史がある。私たちが、このとうとい歴史を知ることがもつとも大切であると考えるのである。

7月の行事紹介



7/5 自治協議会理事会



7/6 そば打ち教室



7/9 母衣旗盆踊り保存会総会



7/6 ホタル鑑賞会・交流会



7/12 盆踊り保存会初練習



7/18 高齢者学級



7/25 母畑地区敬老会実行委員会開催



7/25 塩田金次郎町長へ母畑逐次地協議会要望書提出

